

日本科学未来館

2016年4月20日(水)常設展リニューアルオープン

オープン以来最大のリニューアル、3月6日にプレイベント開催

にっぽんかがくみらいかん

日本科学未来館(略称:未来館 館長:毛利 衛)は、開館15周年をむかえる本年、常設展をリニューアルオープンします。展示の新設や、ドームシアターの新コンテンツ、展示体験を深めるためのサイン演出および公式アプリ、アクティビティ・スペースの整備など、オープン以来最大のリニューアルとなります。

このたびのリニューアルは、科学技術をとりにく環境の変化に対応するとともに、これからの科学館が果たすべき役割を視野に入れたものです。知識や情報を与えるのみならず、来館者一人ひとりに科学技術の未来を考えてもらい議論を促し、行動につなげていくことで、私たちの社会や地球をめぐるさまざまな課題の解決に貢献していく場となることを目指します。リニューアルの概要は以下の通りです。

■公開日

2016年4月20日(水)

※2016年4月20日(水)～4月24日(日)は、リニューアル記念として、常設展入場とドームシアターの鑑賞が無料。

■リニューアルの概要

1. 常設展に6つの新しい展示が登場!
2. ドームシアターにて新しいコンテンツが公開!
3. 展示体験を深める新たなサイン演出と、公式アプリが登場!
4. アクティビティ・スペースが充実!

■リニューアルオープン・プレイベント

2016年3月6日(日)、プレイベントとして、新展示の監修者によるトークイベントと製作中の展示を使ったワーク、ドームシアター新コンテンツの先行試写会を行います。

- ・サイエンティストトーク「未知の災害ダメージを『想定外』と言わないために」
- ・『9次元からきた男』先行試写会

※4月19日(火)にプレス内覧会を開催します。詳細については3月下旬ごろにご案内いたします。



一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

1. 常設展に6つの新しい展示が登場！

●新展示「100億人でサバイバル」

地震や異常気象、原発事故など、さまざまなハザードが起こるしくみやその被害を理解できる展示です。21世紀の地球に暮らす私たちが、どのようにハザードと向き合ったらよいか、ともに考えます。

〈展示構成〉

ゾーン1:ハザードを実感する

実際に起こったハザードの被害をリアルに感じることで、私たちのすぐ身近にも命にかかわる危険の種が存在することに気づきます。

ゾーン2:ハザードの正体を見抜く

さまざまなハザードから身を守るには、それらが生み出されるしくみを理解する必要があります。ダイナミックな地球のシステムと急速に変化する人間社会をモデル化し、私たちが脅かすハザードの本質をイメージします。

ゾーン3:ハザードから命を守る

ハザードによる被害を減らすためのさまざまな社会の取り組みを紹介します。ハザードがたどる道筋を5段階に分けてとらえ、各段階の研究成果や問題点を理解します。

■場所: 5階「世界をさぐる」内

■監修: 押谷仁(東北大学大学院医学系研究科 教授)、岸本充生(東京大学公共政策大学院政策ビジョン研究センター 特任教授)、田近英一(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

■総合監修: 毛利衛(日本科学未来館館長、宇宙飛行士)



100億人でサバイバル (イメージ図)



毛利衛

●新展示「未来逆算思考」

50年後の人たちにどんな地球を贈ることができるのか、ゲーム形式でアクティブに体験する展示です。これまでの考え方では先が見通せない問題でも、理想の未来から逆算することで今からすべきことが見えてきます。

〈展示構成〉

第1ステージ

自分が考える50年後の理想の地球を、8つの選択肢から選びます。

第2ステージ

自分が選んだ理想の地球をゴールまで届けるために、コースを設定し送り出します。

第3ステージ

体験を振り返りながら、50年後に理想の地球を実現しているために必要とされる科学技術や社会システム、ライフスタイルなどを考えます。

■場所: 3階「未来をつくる」内

■総合監修: 大垣眞一郎(公益財団法人 水道技術研究センター 理事長)

■監修: 勝川俊雄(東京海洋大学 産学・地域連携推進機構 准教授)、木部暢子(国立国語研究所 副所長・時空間変異研究系教授)、花木啓祐(東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授)、広井良典(千葉大学法 政経学部 総合政策学科 教授)、松橋隆治(東京大学大学院 工学系研究科 電気系工学専攻 教授)、宮廻正明(東京芸術大学大学院 美術研究科 教授)、山本雄士(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 リサーチャー/株式会社ミナケア 代表取締役)



未来逆算思考 (イメージ図)



大垣眞一郎 氏

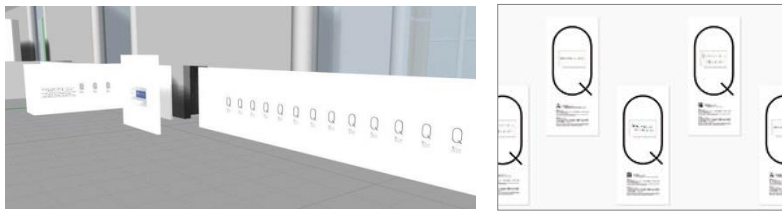
●新展示「ノーベルQ ノーベル賞受賞者たちの『問い』」

ノーベル賞受賞者から来館者にいつまでも考え続けてもらいたい「問い」をいただき、メッセージとして展示します。世界を変えた受賞者たちの「問い」を掲示することで、来館者自身の思索を促します。

■場所：3階「未来をつくる」内

■協力受賞者（日本科学未来館名誉館員）

小柴昌俊(2002年ノーベル物理学賞)、白川英樹(2000年ノーベル化学賞)、田中耕一(2002年ノーベル化学賞)、野依良治(2001年ノーベル化学賞)、ハロルド・クロトー(1996年ノーベル化学賞)、ティモシー・ハント(2001年ノーベル生理学・医学賞)、アレクセイ・アブリコソフ(2003年ノーベル物理学賞)、江崎玲於奈(1973年ノーベル物理学賞)、ラジェンドラ・パチャウリ※IPCC(2007年ノーベル平和賞)、ペーター・グリュンベルク(2007年ノーベル物理学賞)、ルドルフ・マーカス(1992年ノーベル化学賞)、小林誠(2008年ノーベル物理学賞)、益川敏英(2008年ノーベル物理学賞)、山中伸弥(2012年ノーベル生理学・医学賞)、鈴木章(2010年ノーベル化学賞)、根岸英一(2010年ノーベル化学賞)、バラク・オバマ(2009年ノーベル平和賞)、ブライアン・シュミット(2011年ノーベル物理学賞)、ダニエル・シェヒトマン(2011年ノーベル化学賞)



ノーベルQ ノーベル賞受賞者たちの「問い」（イメージ図）

●新展示「ジオ・プリズム」

AR（拡張現実感）技術を用いて、地球ディスプレイ「ジオ・コスモス」に自分の見たいデータを重ねて表示したり、操作したりすることができる展示です。ジオ・コスモスをとりかこむ回廊「オーバルブリッジ」に沿って設置されます。展示の演出を手掛けるのは、メディアアーティスト真鍋大度、石橋素の両氏率いるライゾマティクスのR&D部門・ライゾマティクスリサーチ。地球に関する様々なデータが最先端のテクノロジーによって可視化され、自分と地球との「つながり」をより深く感じていただけます。

■場所：3～5階「オーバルブリッジ」

■展示演出：ライゾマティクスリサーチ



ジオ・プリズム（イメージ図）



真鍋大度 氏



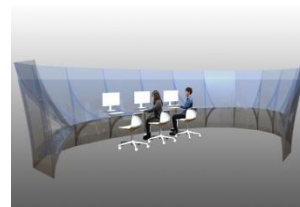
石橋素 氏

●新展示「ジオ・コックピット」

オーバルブリッジの中央部分に新デザインの空間が登場します。ジオ・コスモスを間近に見られるほか、地球観測データに自由にアクセスできるジオ・スコープなどのツールが体験いただけます。空間の設計を手掛けるのは、日本科学未来館をはじめ、東京スカイツリーや渋谷ヒカリエの設計に携わった吉野繁氏。最先端のガラス技術を用いた滑らかで流麗な空間となります。

■場所：3～5階「オーバルブリッジ」

■空間設計：吉野繁（株式会社日建設計 デザインフェロー）



ジオ・コックピット（イメージ図）



吉野繁 氏

●新展示「フロンティアラボ」

宇宙開発や海洋探査などのフロンティア分野について、現在進行形の研究を紹介するフレキシブルな展示コーナーです。研究開発の進展や来館者のニーズの変化にあわせて、柔軟に展示内容を更新していきます。また、これまで展示してきた「すばる望遠鏡」や地球深部探査船「ちきゅう」の模型、深海生物「ユノハナガニ」の生体展示などについても、より観覧しやすい配置で展示します。

■場所：5階「世界をさぐる」内

2. ドームシアターにて新しいコンテンツが公開！

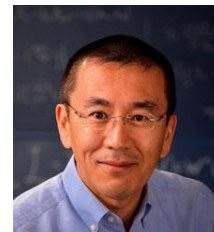
●新コンテンツ『9次元からきた男』

物理学の究極の目標である「万物の理論」をテーマにした3Dドーム映像作品です。素粒子のマイクロ世界と、宇宙のマクロ世界をあらわす二つの理論は矛盾しており、理論物理学者たちはそれらを統一する「万物の理論」を見つけようとしています。その最も有力な仮説である「超弦理論」が提示する驚きの世界とは？

演出を手がけるのは、『呪怨』や『魔女の宅急便』などで知られる映画監督の清水崇氏。難解な数式で表現される理論物理学の最前線を、エンターテインメント性あふれる実写と精緻なCG・データビジュアライゼーションを融合させた映像で体感していただけます。

■監修：大栗博司(カリフォルニア工科大学 教授・理論物理学研究所 所長／東京大学 カブリ数物連携宇宙研究機構 主任研究員)

■公開日：2016年4月20日(水)より公開 (平日6回、土日祝7回上映)



大栗博司氏



清水崇氏

【ご案内】プレス向け試写ウィーク

2016年2月15日(月)～19日(金)

各日とも、18:00～(ただし、2月16日(火)は2回上映 15:00～/18:00～)

※参加をご希望されるプレスの方は、日本科学未来館 広報普及担当までお申し込みください

3. 展示体験を深める新たなサイン演出と、公式アプリが登場！

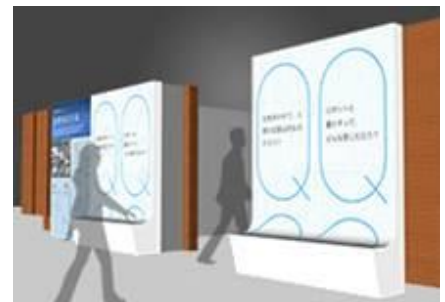
日本科学未来館での展示体験を深め、いつもの毎日にも広げるための、新たなサイン演出と公式アプリが登場します。

クリエイティブディレクションは、陸上トラックを模した成田空港第3ターミナルのデザインなどを手掛けたクリエイティブラボ「PARTY(パーティー)」が担当。「Q(Question)」の文字を使ったキービジュアルが展示内のサインやアプリでナビゲーションとして展開されます。「問い」を起点に観覧することで、館内の展示すべてを新しい視点で体験するとともに、展示のメッセージや自分が考えたことを持ち帰ることができるようになります。

■クリエイティブディレクション：PARTY

■アプリ配信開始日(予定)：2016年4月19日(火)

[App Store または Google Play より無料でダウンロードいただけます]



ミライゲート/セカイゲート(イメージ図)

●ミライゲート / セカイゲート

3階「未来をつくる」、5階「世界をさぐる」それぞれの出入り口に大型スクリーンを設置して、展示へと誘う高揚感を演出します。

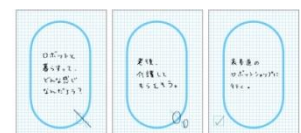
●Miraikan ノート(アプリ版)

日本科学未来館が何倍も楽しめるアプリです。メインコンテンツは、8つのテーマに沿って展示を体験できるモデルコース「クエスト」。「問い」を起点に、館内の展示をめぐりながら、自分の考えや新たにやってみたくてほしいことを書きとめていきます。また、館を出た後も、思いついた問いや考えを書き込んで使い続けていくことが可能です。

さらに、すべての展示の見どころが音声で聞ける音声ガイド(日本語、英語、中国語、韓国語)のほか、ジオ・コスモスをバックにAR技術を使った記念写真が撮影できるコンテンツもあります。

●Miraikan ノート(ノート版)

アプリ版と同様に、展示の中ではもちろん、毎日の生活でも使えるノートです。ふと芽生えた問いや考えをメモすると、知りたいことややってみたくてほしいことが増えていくでしょう。(ミュージアムショップにて販売予定)



「Miraikan ノート」 アプリ版(左)、ノート版(右)

4. アクティビティ・スペースが充実！

●コ・スタジオ

科学コミュニケーターによるミニトーク、ボランティアによる実演、ゲストスピーカーによるトークイベントなど、各種アクティビティを行うためのスペースが新しく登場します。目的のプログラムに気軽にアクセスいただけるよう、館内で実施するアクティビティを「コ・スタジオ」に集約し活発に実施していきます。また、科学コミュニケーターによる解説ブースも併設し、より踏み込んだ解説もお聞きいただけるようになります。

■場所：5階「世界をさぐる」内



●リニューアルオープン・イベント

リニューアルオープンに先立ち、3月6日(日)に、新展示「100億人でサバイバル」の監修者によるトークイベントと製作中の展示を使ったワーク、ドームシアター新コンテンツ「9次元からきた男」の先行試写会を行います。

サイエンティスト・トーク「未知の災害ダメージを『想定外』と言わないために」

さまざまな災害によって私たちが受けるダメージは、社会システムによって大きく変わってきます。科学技術の発展により情報通信や交通手段、物流などが複雑化した現代社会。歴史的には経験があり「知っている」つもりの災害や自然現象が、全く新たな被害や混乱を招くことも考えられます。未知の災害ダメージを「想定外」と言わないために、東日本大震災の教訓を再確認し、現代の社会に潜む脆弱性を見つめます。簡単なワークを取り入れたトークのほか、制作途中の展示を紹介し参加者の視点を展示に反映させる試みも行います。

- 日時：2016年3月6日(日)14:30～16:30
- 場所：3階実験工房および5階「100億人でサバイバル(制作中)」
- 講師：岸本充生(東京大学公共政策大学院 政策ビジョン研究センター 特任教授)
- 参加方法：事前申込不要。直接会場にお越しください。
- 参加費：日本科学未来館の入館料のみ(大人620円、18歳以下210円)
- 対象：どなたでも参加できますが、内容は中学生以上向けです。
- 定員：40名



岸本充生 氏

『9次元からきた男』 先行試写会

ドームシアター最新作『9次元からきた男』を、4月20日の公開に先駆けて上映する先行試写会を開催します。

- 日時：2016年3月6日(日)17:20～17:50
- 場所：6階ドームシアター
- 参加方法：WEBによる事前申込、抽選制。
- 参加費：無料
- 定員：60名

